

岩手医科大学

医療

いわて医療通信

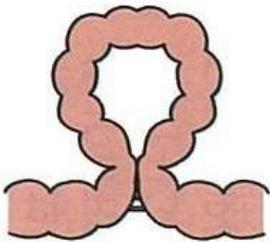
【軽視できない怖い病気】

引き起こすことがあります。強い腹痛、嘔吐が出現しますが、胃腸炎など症状が異なる

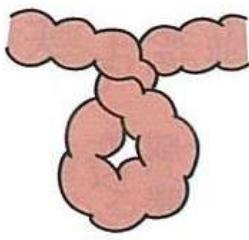
腸閉塞の主な原因



悪性腫瘍によるもの



癌着によるもの



ねじれによるもの

腸閉塞は、何らかの原因により腸の運動・通過が妨げられている状態です。腸は蠕動という「波が徐々に移行していくような運動」により食物などを運びます。

腸の炎症などにより蠕動が止まってしまう、悪性腫瘍などにより腸が塞がってしまったなどの症状が生じると、腸閉塞の原因で多いのは、癌着によるものです。お腹を開ける、いわゆる開腹手術をされた方の中には、お腹の中で腸同士、または腸とお腹の壁に溜まっています。時間

の経過とともにどんどんと内容物が溜まっていきますので、お腹が張ったり、気持ち悪さや嘔吐といった症状が出てきます。実際の診療の中で出会う腸閉塞の原因として腸がねじれてしまふことがあります。腸がねじれる

頻度が高いわけではありませんが、危険な腸閉塞の原因として腸がねじれてしまうことがあります。腸がねじれてしまうと腸への血流が悪くなります。血流が悪くなつた腸は壊死(腐る

ことがあります。命に関わることです。胃腸炎は胃腸の動きが過剰となり症状を呈くくなってしまい腸閉塞を発症します。

症状が和らぐ時間が繰り返しあります。腸がねじれるところのねじれが解除されない限り症状が持続しますので、このような症状が現れる場合にはすぐに近くの医療施設へ受診することが大事です。

腸閉塞は自然に良くなることがあります。命に関わることもある病気ですので、気になる症状がある場合にはかかりつけ医や消化器内科の専門医へ早めに相談してみてください。

腸閉塞は自然に良くならぬことがほとんどのため、

氣である腹膜炎、敗血症(菌が全身に広がる感染症)を

程度がごく軽いものを除いて入院による治療が必要です。腸閉塞は原因などによ

り症状の程度に大きな違い

し、重篤な病気である腹膜炎、敗血症(菌が全身に広がる感染症)を

岩手医科大学医学部
内科学講座
消化器内科分野